

# 令和3年は「育」の年に

新年あけましておめでとう  
ございます。旧年中は、

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、不要不急の外出自粛や休業要請などに深いご理解と多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

市では、市民の皆さんの健康で安心な暮らしが守れるよう、感染拡大防止に務めてまいりましたので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

## 一歩ずつ着実に歩む年

今年の干支は「丑」です。丑年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を前に進めることで、将来の成功につながっていく年と言われています。

新年を迎え、私は今年の抱負を「育」の一字で表現しました。これまで蒔いてきた種が少しずつ芽を出してきた、その芽を大切に育てていく一年にしたいという思いを、この「育」という字に込めています。

## 人がまちを育み、まちが人を育む

コロナ禍は社会の在り方を大きく変えてしまいました。人と人との直接のコミュニケーションは敬遠され、他人と距離を保つことを求められる。大企業でさえも、わずか数カ月間に非常に厳しい経営状況に追い込まれてしまう。このような時世にあって、私も市民生活に直結する基礎自治体をあずかる長として多くのことを考え、短期間でさまざまな決断を下してきました。その過程では、励ましの声や厳しい声など、たくさんの方の皆さんからご意見をいただきました。その中で、私は原点に立ち返り、「まち」とは「人」であり、まちづくりの根幹を成すのは市民の皆さんであることを実感しました。企業の業績に左右されない、強いまちをつくるには、人のにぎわいが必要で、人がまちを育み、まちが人を育む。この循環を止めるわけ

にはいきません。

私は就任以来、さまざまな種を蒔いてきました。令和元年は「産」を掲げ、子育て支援や教育環境の充実、市内産業の振興を進めてまいりました。令和2年には「挑」の抱負の下、行政の既成概念を打ち破るべく、さまざまな民間企業と連携し、子育てや農業、福祉などの分野で新たなチャレンジを始めています。待望の産婦人科誘致も決定しました。令和4年の春には富士見ヶ丘に開業していただける予定です。そして今年、令和3年はそれら「まちづくりの芽」を大切に育てていく年にしたいと思っています。

## 子育て支援と教育の質向上へ

今夏にはみらい平駅近くに、行政サービスの機能を持つ「みらい平市民センター」がオープンします。ここでは、妊娠から出産、育児に至るまで「切れ目のない支援」を行える体制をつくり、安心して子どもを産み育

てられる環境を整えます。また、同センター内にはボランティア活動などを行う皆さんを支援・育成する拠点もあわせて整備し、まちに活気を育てていきます。

移住や定住を促進し、人を呼び込むには、教育の質を高めることが何より大切だと思っています。そのためには、教育現場へのICT（情報通信技術）導入や英語教育の充実などに取り組み、教育の質の向上を多角的に進めてまいります。また昨年は、コロナ禍において学習の機会が減ってしまった子どもたちを支援する取り組みである「みらい土曜塾」も新たに始めました。今後子どもたちのことを一番に考えた教育環境の整備と、義務教育施設の適正配置に取り組んでまいります。

## 活力ある産業を育む

昨年完成した福岡工業団地には、新たな企業が進出してきます。企業には活力ある地域産業

を育んでいただき、高速道路網や鉄道網の好アクセスの利を生かして、従業員などの移住定住が生まれることを期待しています。

昨年、大きな変化として現れた「新しい生活様式」は今や私たちの暮らしの中に溶け込み、「普通の日常」となりました。そんな中迎えた令和3年は、どのような年になるのか、予想するのは困難です。しかしながら、これまでどおり、市民の皆さんに寄り添う行政として、一歩一歩着実に前進してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。

つくばみらい市長

小川浩